

# 令和6年度 第2回学校運営協議会

1 日時 令和6年6月24日(月)

2 参加者 学校運営協議会委員

- ・増渕 晴美 (東方台地コミュニティ推進協議会副会長)
- ・大垣 玉枝 (下野市国分寺地区主任民生児童委員)
- ・下山千恵子 (読み語りボランティア)
- ・山家 幸勝 (保護者、元PTA副会長)
- ・蓬田 裕康 (地域の方)
- ・白石 孝子 (国分寺小学校教頭)
- ・青木 正徳 (新規 地域学校協働活動推進委員)
- ・坂本 順子 (本校校長)

事務局 司会 軸丸 尚子 (本校教頭)

記録 近江 成美 (本校教務主任)

3 内容

I (1) 校長あいさつ (2) 会長あいさつ (3) 本日の日程確認

II 授業参観

III 協議

IV 事務連絡

3 内容の主な発言

- ・1年七夕飾り、にぎやかな中で楽しくできた。
- ・皆さんと話し合っ、学校のために活動できたら
- ・新年度。2ヶ月経った。もうすぐ夏休み。
- ・1年生がプールに入る際、担任は一つ一つ丁寧に指導する。積み重なって6年生の姿がある。成長が見られる。
- ・6年生は修学旅行で、鎌倉と箱根に行った。「せ・か・い」のキーワードを実践できた。
- ・県民の日集会では先生たちの児童を支える気持ちが表れていた。
- ・大きな事故や問題はない。昨年から見守りをお願いしている。見守りは有効。
- ・修学旅行の見送りに来た。担任が注意点などをしっかり伝えていて素晴らしかった。
- ・東小の最終学年として児童はよくやっている。
- ・全体的にいつもどのクラスも先生と子どもの関係がよい。楽しく授業している。落ち着いていた。どの学年の児童も授業の内容をよく聞いて答えていた。
- ・図工ではみんながすてきな色を使っていて子どもの心を表すよう。絵に個性がある。
- ・当番の号令が遅れても、友達が優しく声を掛けていた。
- ・リーコーダーにアルファベットで名前を付ける児童。習ったことを生かしている。
- ・朝、登校の様子を見守っていると児童から声を掛けてくれることが多い。班の人数が多いが、先頭の高学年の子が1年生を待って「大丈夫？」と声を掛けるやさしさが見られた。非常にうれしく思った。
- ・算数ではICTを利用して。分かりやすい内容となっていた。
- ・1年教室は児童の人数が多い。子どもの熱量と暑さで今後が心配だが、子どもたちは真剣に聞いていた。これからの伸びが楽しみ。支援の先生がいて、担任と連携している。

- ・支援学級は習字をしていた。先生の指示のもとよく考え取り組んでいた。教室に水道やトイレがあり、環境が整っている。児童の安心につながる。
- ・水泳でマイクを使用するとみんなに聞こえる。指示が通っている。日々の指導がきちんとしているからこそである。長袖の水着着用・サンダル利用など環境の変化や個人の判断などを考えることが重要。
- ・水筒の管理、トイレのスリッパなど、1年生からの日常の何気ない積み重ねが大切。
- ・子どもと先生の関わりやコミュニケーションがすばらしい。
- ・学校に来ることが多いが子どもが地域の人を認識している。安心感がある。
- ・デジタル教科書は、黒板での指導で難しいところをカバーする。有効に活用してわかりやすい。
- ・養護教諭が参加する保健の授業は分かりやすくてよい。
- ・まちがった問題にもう1回取り組むなど間違いを生かす授業がよかった。
- ・高学年でマスクを外さない子が多い。暑さが心配である。
- ・学校では登下校や外での活動では取るように声かけする。
- ・親の意向もある。中・高校生はほぼしている。家族に医療関係者がいると子どもにマスクをしていくように声を掛けている。
- ・マスクの息苦しさから熱中症が心配。状況に応じることを教えなければならない。
- ・コロナは特效薬ができていない。感染予防は難しい。マスクを外すこと強制できない。
- ・地域の教育力を得て、学校と協力して活動していきたい
- ・学校と地域との関わりやつながりが強まってきたことを感じる。
- ・気軽に学校に行けることは大切なこと。ぱっと行って話ができることはすばらしい。
- ・気付いたときに「先生に言ってみようか」と伝えられる。地域のことを分かってもらえる。
- ・古典文化鑑賞が行われた。難しい部分もあったが、低学年もそれなりに楽しみ、雰囲気味わった。落語の所作体験や、傘回しも見るのができた。公演後の感想では、落語家になりたいという児童もいた。
- ・学校が地域にできることはないか、さらに、地域の方に参加してもらえないかと考えている。例えば、友愛館に児童の作品や写真を展示する、健康公園のゴミを拾う・・・等。地域の皆様と一緒にできることがないかを提案させていただきたい。
- ・3年生と柴北環境保全機は「生き物調査」を今後計画していきたい。
- ・テーマをもとに、具体的に活動につなげたい。地域とのつながりをより強化したい。学校として、地域にできることはないかと考えている。地域の方からの意見を取り入れて、児童のアイデアと地域の方の思いを組み合わせる。国東小の強みを生かしていく。新しい道筋が見えてくるのではと思う。
- ・学校側から言ってくれるとうれしい。すぐには浮かばないが、考えていきたい。
- ・本の読みかせや友愛館利用は特定の人。もっと利用してほしい。若い人たちにも、地域は暖かいことを知ってほしい。育成会の活動やPTA 活動ともつないでいきたい。
- ・昨年のマルシェ、今年のお祭り。ゆくゆくは一緒にやれるとよい。友愛館はいつでも Welcome 学校作品などを掲示するのもよいと思う。
- ・3回目9／12 授業参観と業間活動参観と協議
- ・4回目2／14 学校評価について